

南アフリカ通信 Vol.45

大使館対策本部で思わず「イエー!」と叫んだ。日本が初戦勝利、ブルームフォンテンのスタジアムはもちろんだ、日本の至るところで雄たけびが上がったはずだ。

ハラハラし通した。これまでの親善試合も、キャンプ中の練習試合もサポーターが納得できる結果ではなかったから、大使館では準備しつづも、暗い空気が漂っていた。それもこれも初戦勝利ですべて雲散霧消。グループステージ突破までにまだ難敵が待ち受けているのだが、高まる期待を抑えられそうもない。

大使館が最も懸念していた日本人サポーターの被害は、日本の勝利直後に一気に増えた。まずスタジアムのサポーターが荷物を盗まれた。勝利で沸き立つ応援団の足下から次々にバックが置き引きされたのだ。特に通路に近い人や、自分の席から少しの間離れてしまった人が狙われた。



Gettyimages

いよいよ南アフリカ・ワールドカップが開幕した。われらが日本代表の様子は? 現地の盛り上がりはいかに? 現地在住の日本大使館領事が最新の情報を直送する。

文◎新保 剛

「日本サポーターの被害速報」



▲日本代表の初戦が行われたブルームフォンテンのフリーステートには多くのサポーターが詰めかけたが、置き引きの被害も多かった。要注意だ!

祝杯を挙げて勝利を祝ったサポーターも狙われた。レストランで隣のいすに置いたカバンや、いすの背もたれと自分の背中の間に置いたセカンドバックが一瞬のうちに持ち去られた。向かい合って座っていた人も気づかないほどの早業、鮮やかな手口だった。南アの犯罪者のそれとは違い、ヨーロッパやアジアの観光地で暗躍する窃盗団の手口に似ている。もしかすると、サッカーの観戦を兼ねて出稼ぎに来ているのかもしれない。

強盗被害も出た。被害者はスタジアムを出る際に同行者とはぐれたため、一人で2キロ離れたホテルに徒歩で向かったが、人通りが絶えたところを3人組に襲われた。時刻は18時半、まだ宵の口だが、暗闇は犯罪を誘う。南アの夜が危険に満ちていることを忘れてはならない。幸い、被害者にケガはなかったし、犯人は逮捕されて被害品の一部は戻った。

話は戻るが、W杯で初戦を飾ったチームがグループステージを突破する確率は8割だとか。大使館では決勝トーナメントの準備を開始した。雰囲気は美に明るい。勝利は偉大なものだ。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp>
 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html